# 平成27年度 キャリア教育推進地域事業推進校

# 研究テーマ

学校名: 須崎市立須崎小学校

すべての子どもが参加できる授業の創造

### 1. 取組内容

#### <取組内容>

①人間関係形成・社会形成能力の育成

研究テーマに添い、昨年度から算数科を中心とし、授業の中に学び合う場を設定し「相手の意見を丁寧に聞く」「自分の言葉で伝える」という人間関係形成・社会形成能力の育成に努めている。

②総合的な学習の時間の充実

6年: 職業分野別体験実習、5年: わくわくチャレンジ in すさき、4年: 障がい者との交流体験、 3年: 高齢者との交流体験・職場見学等、これまでの取り組みの継続を図る。

## ①の取組について

本校でのキャリア教育のスタートは、さまざまな体験活動等を通して、まず基礎的な能力を育成することから取り組みを始めた。本年度は研究テーマを「すべての子どもが参加できる授業の創造」とし、基礎的な能力の中でも「聞く・話す」に重点を置いた取り組みを進めてきた。具体的には日々の授業の中で、先生や友達の話をしっかり聞くことや友達の意見に関わって自分の意見を発言できるような仕組みを考えた授業を展開している。この「聞く・話す」ことは、今後子どもたちが成長していく過程で基礎基本となるためウエイトを置いた取組として進めてきた。この取組は、キャリア教育として特化した取組はできていないが、日常的な授業の中でコミュニケーション能力の育成等を意識し、個々の能力の向上に取り組んできた。

#### 【授業の中で】(H27)

日々の授業の中で「ペア学習」や「グループ学習」などを授業の中に位置付け、コミュニケーション能力の育成について意識して取り組んでいる。

また、授業研究時等の指導案には必ずキャリア教育の視点を意識した目標を設定し、授業後の討議の柱の一つとして研究協議を行っている。





#### 【外国語活動の中で】(H27)

本校は、外国語教育コア・ティーチャー育成事業の指定を受けている。

毎週、須崎中学校の英語の先生と教育研究所の先生が来校してくださり、担任と外国語担当教諭 が授業を行っている。

ICT 等も活用し、楽しみながら外国語に親しんでいる。本年度は、4年生も中学校の先生と一緒に授業を行っている。





#### ②の取組について

本校は、キャリア教育推進地域事業を受ける以前から、キャリア教育に関わる体験学習に取り組んできた。本年度も、新たに体験学習を始めるのではなく、今までの取組を継続して実施するなかで、改善する点があれば次年度に向けてよりよい取組にしていこうと考えた。 各学年の取組は、以下の内容である。

### 【3年生】(H26)

6月16日(月) デイサービス「しろやま」との交流

7月 4日(金)、9月18日(木)、12月9日(火)、2月3日(火)にも交流

10月31日(金) 絵手紙づくり(参観日での交流)

11月27日(木) 高齢者疑似体験活動





### 【3年生】(H27)

## 社会見学

社会科の学習で、魚市場の見学をさせていただいた。たくさんの魚が並べられたり、せりにかけられたりしている様子を目の当たりにし、興味深く学習できた。また、量販店では買い物学習を通して、お店の工夫や努力について知ることができた。





#### 【4年生】(H26)

4年生は障がい者理解の一環として、共同作業所ゆら・らの方々から、掃除の仕方の指導を受けながら、一緒に市役所内の清掃活動を年2回行っている。一人ひとりが担当の掃除場所で黙々と取り組むことができていた。その体験から子どもたちは、学校での掃除も一生けんめいできるようになっている。事前学習として、須崎市福祉センターの保健士さんに、障がい者理解の授業を行って頂きゆら・らの方とスムーズに出会うことができた。また、行き帰りは、民生委員さんが同行してくださり、子どもたちの安全が確保されていた。

7月 9日 (水)・11日 (金) 共同作業所ゆら・らの方と一緒に清掃活動を通して交流 11月12日 (水)・19日 (水) 共同作業所ゆら・らの方と一緒に清掃活動を通して交流 12月18日 (木) アイマスク体験も行った。





### 【4年生】(H27)

目的:中1ギャップ解消に向けて須崎中学校区の小学校で交流を深める。

安和小学校、新荘小学校、須崎小学校の3校は4年生から学年の交流を行っている。初めは、お互いにはずかしがっている様子も見られたが、カヌー体験をしたり、一緒に昼食を食べたりするなかでみんなが仲良くなり、友だちの輪が広がる楽しい行事だった。





### 【5年生】(H26)

10月28日(火)・29日(水) わくわくチャレンジ in すさきの実施 小学校区近隣の9事業所に5年生が分かれての職場体験学習

# 【協力事業所名】

1	けんかま本社	6	マルミヤ宮本商店
2	須崎道の駅 野島水産	7	J R須崎駅
3	花のひさかわ	8	須崎幼稚園
4	須崎スーパーストア ゆたか店	9	ヘアーギャラリー キッズ
5	フジ須崎店		









# 【6年生】(H25)

2月21日(金) キャリア教育体験実習

(社) 高知県専修学校各種学校連合会加盟校及び須崎警察署の協力で、10程度のブースを設定し、自分の希望するコーナーを3交代で移動し、説明を聞いたり体験を行ったりした。

# 【体験内容】

職業分野	職業・仕事内容		
情報処理・IT・	システムエンジニア、プログラマ、Web デザイナー、CG クリエイタ、CG		
CG・ゲーム	デザイナー、映像編集		
動物・ペット	飼育士、トリマー、動物看護、トレーナー、ブリーダー		
リハビリ	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士		
臨床工学	臨床工学技士		
調理	調理師、食育インストラクター、フードコーディネーター、介護食士		
理容・美容	美容師、ヘアメイクアップアーティスト、エステシャン、ネイリスト、理容師		
こどもと接する	保育士、幼稚園教諭、社会福祉士、児童指導員		
福祉	介護福祉士、ホームヘルパー		
医療事務	医療事務・医療秘書		
公務員	教師、県庁、養護教諭、学芸員、警察官、消防士、自衛官		
警察	警察官		
建築関係	建築士		









# 【6年生】(H26)

12月11日(木) 防災学習

~南海地震の体験者からの聞き取り学習~

毎年6年生は、昭和の南海地震を体験された地域の方からお話を伺う防災学習を行っている。地震に備えるための知識を増やすだけではなく、地震が起きた時、自分が生活している場所や時間を考え、どういう行動をとればよいかを考えるための大切な学習となっている。









## 2. 成果

①本年度、全国学力・学習状況調査結果は、国語A・B、算数A・B、理科、すべてにおいて全国平均を下回った。全国平均をめざすという目標は、国語A・B、算数A・B、理科、すべてにおいて目標を達成することができなかった。

②平成26年度標準学力調査結果の評定1の児童が、国語、算数とも多数いる。国語は減少傾向にあるものの、算数は増加傾向にあるので、加力指導、個別指導を行うなど、基礎学力のさらなる向上をめざして改善をすすめていく必要がある。

③昨年度の高知県学力到達度調査においても、5年生、4年生とも中部事務所管内の平均と下回る結果が出ている。国語、算数とも、記述問題に弱さがみられる。また、基礎的な知識・理解、技能を用いる問題においても個人差が大きく、算数シートや国語シート、単元テスト等の活用や個別の課題学習(家庭学習も含め)等で定着を図る取組を行っていく必要がある。

学力面では、まだまだ厳しい面が見られるため、継続した学力向上への取組を全校で計画的に行っていく必要がある。また、表現する力やコミュニケーション能力についても、昨年度から授業の中に位置付け始めた状況で、まだまだ不十分な点も見られることから、今後も継続した取組を進めていく必要がある。

「夢や希望を持って努力し、意欲を持って学び続ける児童」という本校キャリア教育の全体目標については、低・中・高学年とも目標を意識して取り組むことができているので、今後さらに取組を深めていく必要がある。

## 3. 課題とその改善策

本校におけるキャリア教育のスタートは「キャリア教育とは何か?」「どのようなものを目指すのか?」というような初歩的な内容からのスタートだった。今年も夏季休業中等に研究所の先生に来ていただき「キャリア教育視点で見直す体験活動と授業改善」等と題した研修を行っていただいた。研修では、学ぶことのメリットを意識することで学習意欲が高まることや将来の自分がイメージを持てる体験活動のあり方、キャリア教育で須崎の子どもたちをどのように伸ばしていきたいのか等を学ぶことができた。また、教職員にとって具体的な取組を考えることのできる有意義な研修だった。ただ、本校は複数の指定研究を受けていたり、日々の生徒指導等に追われたりすることが多く、キャリア教育として新たな特別な取組は行っていない。ただ、全校で統一して意識したことは、授業や体験活動の目標の中にキャリア教育の視点をきちんと位置付けることであった。このことにより授業や体験活動で子どもたちにどんな力をつけるために、どのような活動を行うかを教師が意識するようになったことは良かった。しかし、顕著な成果を上げる取組とまでは至っておらず、これまでの取組のいくつかを整理できたぐらいである。

このため、次のような課題が残されている。

- (1)キャリア教育の視点を持った授業展開の工夫
- ②社会に出て必要となる能力の育成(あいさつ、ことばづかい等)
- ③基礎学力の定着・向上
- 4)各学年の系統だった体験学習の充実 等

たくさんの課題が残されている状況であるが、来年度以降も、体制整備の充実を図ることや総合的な学習の中での体験活動の見直し、教科でのキャリア教育の視点の位置づけや授業の工夫等、キャリア教育の推進を具体的な取組として位置付け、小学校6年間を見通した取組にしていきたいと考える。